

原油高騰の対策 県に支援要請へ

県漁連・組合長会

円安による輸入価格の上昇やエシプト情勢の混乱で原油価格が高騰しているのを受け、県漁業協同組合連合会（国吉眞孝会長）と県漁業協

同組合長会（古波蔵廣会長）は20日、県に支援を要請する。

要請文は燃油は4年以上上昇傾向で、2009年と比べて約6割高く、「漁業経営は近年になく非常に厳しい」と窮状を訴えており、県による燃油高騰対策の実施を求めている。

多様データ統一配信

IL社とI-L沖縄、開発

AR画像認識技術活用

「未来メディア」は従来のAR配信に比べ、大量・多様なコンテンツデータをクラウド上に登録し、一つのアプリで統一的に配信できる点が特徴。IL社によると、AR情報発信のプラットフォームの開発は県内で初めて。

ITシステム開発のインタラクティブラボトリー（IL社、東京、武田政樹社長）とインタラクティブラボトリー沖縄（うるま市、嘉数岩夫社長）は16日までに、AR（拡張現実）の画像認識技術

を活用し、画像や音声、3Dキャラクターなど数百万を超えるコンテンツ・情報を同時に発信可能なクラウドベースの配信プラットフォーム「未来メディアAR（未来メディア）」を開発したと発表した。

IL社は今後、ムービータイムス（東京）と業務提携し、観光案内のプラットフォームとしても活用。早ければ8月中にも那覇市の国際通りを皮切りに、店舗情報提供サービスを開始する。

両社は13日からFMうるま（伊波良和社長）と業務提携し、「未来メディア」を使った名刺情報提供サービスを13日からスタート。名刺にスマートフォンなどの端末カメラをかざすと、ユーザーが事前に登録した動画などが端末に配信される仕組み。